

大正政変

元号が「明治」から「大正」へと移った頃、日本を取り巻く国際環境は激変した。1910年の韓国併合や1911年の関税自主権の回復など、明治以来の諸懸案が解決をみた。心機一転の大正時代の最初を飾ったのは、第一次護憲運動・大正政変であった。藩閥が解体し、国家を主導するものが政党・官僚・軍へと多元化した。

○軍拡の要求と時代の転換

●多方面からの要求と伝家の宝刀

<第2次西園寺公望内閣 | 1911年8月～1912年12月>

1911年、国家財政の悪化の中、第2次⁽¹⁾ _____内閣が成立した。

⇒(1) 内閣は、次の方面から財政に関する要求を受け、困難に立たされた。

①与党⁽²⁾ _____：経済成長のための支出増加

②陸軍：辛亥革命の朝鮮半島への波及を防ぐための⁽³⁾ _____増設

③海軍：戦艦・装甲巡洋艦各8隻の建造計画八・八艦隊

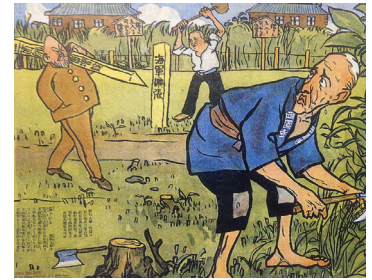


図1 陸軍・海軍の軍拡要求

＊前：草刈り（財政整理）する西園寺

＊後：勝手に杭を打つ陸軍・海軍

(1) 内閣は、陸軍拡張よりも海軍拡張を優先した。

→陸軍およびその巨頭である山県有朋^{やまがたありとも}は、2個師団増設を強く求めた

⇒(1) 内閣は、師団増設を財政上の理由から拒否した。

⁽⁴⁾ _____大臣上原勇作が、単独で辞表を天皇に提出した。

⇒(1) 内閣は、陸軍が上原勇作の後任の陸相を出すことを拒否したため、

軍部大臣現役武官制を守れず、1912年に総辞職した。



図2 上原勇作

●時代の転換

<新時代の到来>

1912年7月、明治天皇の死去に伴い、⁽⁵⁾ _____が即位した。

⇒天皇の最高顧問元老の山県有朋は、(7)の内大臣兼侍従長に、

長州出身で陸軍の長老である桂太郎を選んだ。

◇元老…憲法に規定されていないが、天皇を補佐して首相の選任権を掌握



図3 大正天皇

<天皇の在り方>

大日本帝国憲法下での天皇の位置づけには、統一見解がなかった。

→1912年、東京帝国大学教授⁽⁶⁾ _____が、『憲法講話』を刊行し、

国家という枠の下に天皇を位置づける学説⁽⁷⁾ _____を唱えた。

⇒(6) は、憲法解釈の定説として支持された。

◇(6) …国家が天皇の上にあり、たとえ天皇でも憲法に従うとする説

◇天皇主権説…国家が天皇の下にあり、天皇は憲法の制限を受けないとする説



図4 美濃部達吉

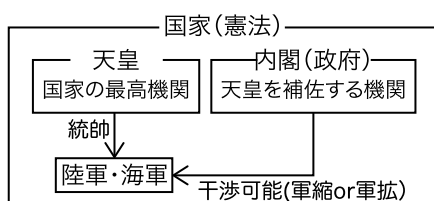


図5 天皇機関説

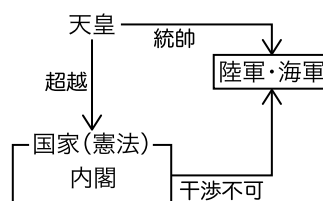


図6 天皇主権説

○民衆の力と政治意識

●大正政変

<第3次桂太郎内閣 | 1912年12月～1913年2月>

元老らの間で、次の首相に⁽⁸⁾ _____ の名があがった。

⇒内大臣兼侍従長の(8)が首相に就任することは、
宮中と政府(府中)の境界を乱すと非難された。

↓
立憲政友会の⁽⁹⁾ _____ や立憲国民党の⁽¹⁰⁾ _____ に民衆が加わり、
次の2つを訴えて倒閣を目指す運動⁽¹¹⁾ _____ を始めた。

①⁽¹²⁾ _____ …薩長の出身者が首相の選任などに力をもつ現状の打破

②⁽¹³⁾ _____ …憲法に従った、民衆による真の政治の実現

↓
(8)は、批判の原因「元老の後ろ盾を得た政治」を止め、
支持母体となる新たな政党の結成を進めた。

→立憲政友会・立憲国民党が、内閣不信任案を議会に提出し、
それを支持する民衆が議会を包囲した。

→1913年2月、内閣は50日余りで退陣した。

⇒退陣に追い込んだ一連の動きを⁽¹⁴⁾ _____ と呼ぶ。

◇(8)の支持母体に、加藤高明を総裁とする⁽¹⁵⁾ _____ が結成



図7 尾崎行雄



図8 犬養毅

天皇の玉座で政敵から身を防ぎ、
天皇の詔勅を弾丸に政敵を攻撃する。



図9 尾崎行雄の弾劾演説

●寛容な内閣の登場と退陣

<第1次山本権兵衛内閣 | 1913年2月～1914年4月>

海軍大将⁽¹⁶⁾ _____ が、⁽¹⁷⁾ _____ を与党に内閣を組織した。

⇒(16)内閣は、次のことを実施し、軍部・官僚に対する政党の影響力を強めた。

①1913年、⁽¹⁸⁾ _____ 改正(現役武官規定の撤廃)

…陸軍大臣・海軍大臣の候補に、予備・後備役の大將・中將を追加した改正

②1913年、⁽¹⁹⁾ _____ 改正

…任用の制限を緩和して、政党员が官僚(文官)になることを容認した改正

↓
1914年、⁽²⁰⁾ _____

…海軍がドイツの会社に軍需品納入を独占させ、

謝礼として代金の一部を受け取ったことが、別の不正とともに露見した事件

⇒この事件は、海軍出身の(16)に対する非難を招き、内閣を退陣させた。



図10 山本権兵衛



図11 ジューメンズ事件

*山本の乗る内閣丸が座礁

●民衆に人気の内閣

<第2次大隈重信内閣 | 1914年4月～1916年10月>

元老らは、民衆の非難による内閣の退陣をみて、

民衆に人気のある⁽²¹⁾ _____ を次の首相に起用した。

⇒1914年、(21)内閣は立憲同志会を与党に内閣を組織した。

↓
1915年の総選挙で立憲同志会が圧勝し、2個師団増設案は議会を通過した。



図12 第12回総選挙